

武庫川女子大学

7:20 学校 発
 9:10 武庫川女子大学 着
 施設見学
 丸山ゼミ卒業制作
 13:30 上田安子服飾専門学校
 ショーの作品指導
 タンブラー制作
 16:30 " 発
 17:40 学校着

丸山ゼミで制作されたCMやドラマ、ニュースなどを見せていただきました。制作者の思いや考えを視聴者に伝えるには、表現の工夫はもちろん、細部にわたり配慮し制作しなければならぬこと、何度もテイクを重ね、大変な苦労や粘り強い努力が必要だということがわかりました。パンフレット制作も、テーマを決め、交渉・取材・文章すべてを自分たちで行い、私たちが手に取りたいような仕上がりがでした。私たちが、自分たちの活動や、得意なこと、やりたいことを追求し、周囲に発信していけるようになりたいと思いました。 3年 小幡 冨恵



上田安子服飾専門学校

自分たちで提案したシーンごとにイメージを統一して衣装を製作してきました。自分たちで意見を出し合うことも大切ですが、先生や外部講師の方の客観的な意見を大切にしないといけないなと改めて感じました。ファッションショーを見てくださる方に、播州織の良さを伝えるためには、指導していただいた事柄を素直に受けとると、自分たちでは気づけなかった点がたくさんあることがわかりました。



衣装は文化祭で…お楽しみに！

あと一週間少ししかありませんが、一つ一つ丁寧なアドバイスを素直に受け取り、より良いものにしていきたいです。専門学校の山田先生が「播州織で学んできたから、播州織に恩返しできるように…」とおっしゃった言葉が心に残りました。播州織だけでなく、先生、友達、いい布が使える恵まれた環境…ファッションショーができることは当たり前と考えず、感謝の気持ちを忘れず、恩返しできる一つになれたいと思います。 3年 常峰 伽菜

旬菜館のエプロン…今回で4代目…

今回初めて私たちが作ったものを持っていきました。直接使われている方とお会いする機会はなかったのですが、こんなに私たちが作ったものを喜んでいただいていたことに感動しました。また、昨年使ってみた感想を聞いて、これからはどんな人がどんな風に使われるのかを考えて、企画していきたいと思います。 2年 芹生 美空



初めて作ったものを手渡しでき、使われる方の声を聞く、良い機会になりました。笑顔で「ありがとう」と言ってくださって、本当に頑張って良かったと思いました。

実際に使われた感想を聞くことができました。調理用のエプロンと仕事用のエプロンでは行動量が違うので、作っている私たちには分からないことに気づくことができました。また、ポケットに携帯など重たいものを入れるので、首のところがゴムがずれてくる、ひもが固定されていないと動いているうちに乱れてしまうそうです。旬菜館のスタッフさんは自分なりにアレンジして使っておられました。今後、より改善した素敵な播州織エプロンを製作していきたいです。 2年 藤原 杏

高校生デザイン画コンテスト～ウエディングドレス～ 展示してもらえる作品です。



1年 見坂若菜



2年 末広明日香



2年 竹内志歩



3年 藤本理徳